

経営課題 4 安全なまちづくり（防災・減災・防犯・交通安全）

★ 防災・減災力の強化

地域が行う訓練に参加し役立ったと
答えた区民の割合

目 標	結 果
80%以上	84.0%

区が行うイベント（安全・安心フェス
タ、つるみんピック）への参加者

目 標	結 果
のべ 1,300 人以上	のべ 5,500 以上

各地域の防災訓練参加者

目 標	結 果
各 300 人以上	約 70 人～180 人

《 元年度の取組み 》

【自助・共助】

- ・ 避難所開設運営訓練等 11 地域
- ・ 安全・安心フェスタの開催（つるみんピックは中止）
- ・ 小学生、中学生、高校生を対象とした防災学習会 8 回
- ・ 各地区防災計画の策定：（※新型コロナで R2.6 月まで策定延期）

【公助】

- ・ 区独自の災害時備蓄物資等の充実：ポータブル冷蔵庫、発電機等を購入
- ・ 区災害対策機能の強化に向けた職員体制の整備および訓練・研修等の実施
- ・ SNS の活用など災害時の情報収集・伝達方法の広報・周知
- ・ 手にとって読んでもらえる区地域防災計画の作成・周知（随時改訂）

《 元年度の評価 》

地域の防災訓練について、今年度も主に地域の役員を対象とした避難所開設運営訓練と住民参加型の防災訓練をほぼすべての地域で実施することができた。ただ、他の地域行事と重なる等参加者が分散し訓練の参加人数が減少した地域もあり、日程として防災訓練単独開催をお願いする等参加者の増加に向け継続した努力を行う必要がある。

【2 年度の主な取組み】

◆防災意識の向上（自助）【新】

- ・ 出前講座の実施
- ・ 安全・安心フェスタの開催
- ・ 小・中・高生対象の防災学習会の開催

◆地域防災・減災力の向上（共助）【新】

- ・ 避難所開設運営訓練の実施

◆区災害対策機能の強化（公助）【新】

- ・ 防災資機材の確保・充実
- ・ 区役所（区災害対策本部）の強化
- ・ 各地域の自主防災組織との連携強化



安全安心フェスタ
10 月 6 日開催
参加者：約 5,500 人



地域防災訓練
11 地域で開催



避難所開設運営訓練
6 地域で開催



防災学習会
7 校で延べ 8 回実施

★ 地域・関係機関と連携

区で実施している防犯事業が鶴見区の犯罪抑止につながっていると答えた区民の割合

目 標	結 果
60%以上	84.6%

した防犯対策事業

街頭犯罪件数

目 標	結 果
前年比△5% (自転車盗△5%)	△9.9% (自転車盗+7.1%)

《 元年度の取組み 》

- ・ 防犯カメラの設置や取替 27 台
- ・ 抑止効果のある防犯プレートの設置 70 枚
- ・ 防犯推進委員会を中心に、各地域団体・関係機関が連携した区内一斉防犯活動 12 回
- ・ 区役所・警察署・各地域防犯組織による合同連絡会の実施 1 回
- ・ 自転車の2重ロックを推進するため鍵の取付けキャンペーンの実施 10 回
- ・ ひったくり防止カバー取付けキャンペーンの実施 10 回

《 元年度の評価 》

各種防犯対策事業を実施し、また新たな取組として、犯罪発生や防犯対策などの情報である「安まちメール」を広報紙に掲載し、登録を呼びかけた結果、街頭犯罪発生件数は昨年より減少したが、自転車盗が昨年より増加した。引き続き、防犯対策の取組を実施し、区民の防犯意識の向上を図る広報活動を行うとともに、区内の民間駐輪場に協力依頼を行い、自転車盗難防止の啓発ポスターの設置を進める。

【2年度の主な取組み】

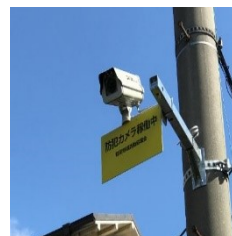
◆地域・関係機関と連携した防犯対策

○街頭犯罪発生件数の減少をめざした取組み

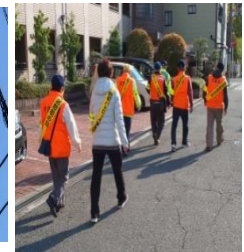
- ・ 防犯カメラの設置や取替
- ・ 防犯推進委員会を中心に、各地域団体や警察等関係機関が連携した区内一斉防犯活動
- ・ 区役所・警察署・各地域防犯組織による合同連絡会の実施
- ・ 自転車の2重ロックを推進するための鍵の取付けキャンペーン

○特殊詐欺認知件数の減少をめざした取組み【新】

- ・ 特殊詐欺防止啓発の出張講座
- ・ 青色防犯パトロール車を活用した注意喚起
- ・ 防災行政無線を活用した認知状況の情報提供や注意喚起



防犯カメラ
27 台設置



区内防犯一斉行動
12 回延べ 1,224 人



ひったくり防止
カバー取付け
ンペーン 10 回



特殊詐欺防止啓発
出張講座 12 地域
で開催

★ 地域・関係機関と連携した

交通安全対策事業

交通事故発生件数
における自転車事
故の割合

目 標	結 果
30%以下	30.2%
(発生件数△30 件)(発生件数△1 件)	

区で実施している交通安全対
策事業が鶴見区の交通マナ
ー向上につながっていると答
えた区民の割合

目 標	結 果
60%以上	78.6%

《 元年度の取組み 》

- ・ 子育て層への交通安全教室 11 回実施
- ・ 高齢者への交通安全研修会 1 回実施
- ・ 警察署、区内の高校生と協働した自転車マナーアップキャンペーン 2 回実施
- ・ 地域・関係機関と協働した放置自転車啓発活動 28 回実施
- ・ 学校を通じた高校生に対する自転車マナーの啓発 1 回実施
- ・ 区内駐輪場マップの作成・配布

《 元年度の評価 》

・ 各種交通安全対策事業を実施してきたが、鶴見区における交通事故総発生件数が減少する中、自転車事故はほぼ横ばいとなっている。統計では、10 代後半、30～49 歳、65 歳以上の高齢者の事故が比較的多いことから、引き続き、学校を通じた高校生に対する自転車マナーの啓発、及び高齢者や子育て世代に対する同啓発を続けていく必要がある。

【2 年度の主な取組み】

- ◆地域・関係機関と連携した交通安全対策
- 交通事故防止や自転車マナーの向上をめざし、さまざまな啓発活動等を行う
- ・ 子育て層への交通安全教室の実施
- ・ 園児への交通安全教室の実施
- ・ 警察署、高校生と協働した自転車マナーアップキャンペーンの実施
- ・ 地域からの要望に応じた、高齢者交通安全研修会の実施
- ・ 高校生への自転車マナーの啓発
- ・ 地域・関係機関と協働した放置自転車啓発活動



子育て層への
交通安全教室の実施
11 回開催



警察署、区内の高校生と協
働した自転車マナーアップ
キャンペーン 2 回開催



高齢者交通安全
研修会の実施
10 月 17 日開催
参加者 36 名



高校生への
自転車マナーの啓発
6 月 24 日開催
参加者 909 名

経営課題5 区民への必要な情報の発信

★ 広報紙の充実

広報紙を手にとってよく読んでいると
回答する区民の割合

目 標
60%以上

結 果
70.0%

《 元年度の取組み 》

○区民アンケート等により区民ニーズの把握に努め、あらゆる世代に手に取って読んでもらえる魅力的な広報紙を作成

- ・ 全世帯・全事業所への配布 毎月
- ・ 広報サポーター制度による民間事業所・医院等との連携による広報紙の設置場所 22 か所増（大草徳庵歯科医院等 60 か所）

《 元年度の評価 》

- ・ 区内診療所等民間事業者との連携により広報紙設置箇所を増設し、ツイッター、フェイスブック等 SNS を活用し、年齢層に応じた広報に取り組んだことで、区役所から必要な情報が届いていると感じる割合は 52.6%と、24 区で最も高い割合となった。
- ・ 今後、区民に関心の高い内容を的確に捉えた紙面づくりに努め、効果的な情報発信を行う。

【2年度の主な取組み】

○あらゆる世代に手に取って読んでもらえる魅力的な広報紙の作成 毎月

- ・ 全世帯・全事業所への配布 毎月

※ 2年度の「経営課題5」は「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」に変更

